

## □ 要請番号 (JL03020A25)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ミャンマー	G112 陸上競技		個別	交替 2代目	2年	・ 2020/2 ・ 2020/3 ・ 2021/1



## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

保健・スポーツ省

## 2) 配属機関名 (日本語)

スポーツ体育研究所、ヤンゴン

## 3) 任地 (ヤンゴン市) JICA事務所の所在地 (ヤンゴン市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はエリート選手や指導者の育成、スポーツ研究を目的に1992年設立された。約20種目に分かれた11-17歳の生徒(選手)約500名を対象に通年トレーニングを実施するとともに、地域のスポーツ団体コーチへの研修、小学校教員への体育研修などのコースも開設している。各種競技のコーチ約40名、その他職員約140名が所属。同様の研究所が全国に6か所ある。協力隊は2016年の短期隊員から派遣開始。現在は長期隊員2名(陸上競技、バレーボール)が活動中。全寮制であるが、昼間は通常の学校に通うため、トレーニングは月～土曜日の早朝と夕方に計3時間程度行われる。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

配属先は、2年毎に開催される東南アジア競技大会に出場する将来の代表選手の育成を目指し、初心者から指導者まで行っている。しかし、当国では小学校で体育の授業がほとんど行われておらず、約70%の選手は入学前に本格的なスポーツの経験がない。今後の国際大会等に向けてさらなる選手の育成が期待されているが、配属先コーチが新たな技術や指導法を学べる機会は限られており、選手たちの技術力向上を図るうえでの課題となっている。現在活動中の協力隊員が取り組んでいる選手たちへの直接指導や様々な練習メニューの紹介等コーチの指導技術向上へのサポートが高く評価されており、引き続き、協力隊の派遣が期待されている。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚コーチと協力しながら、配属先の一員として以下の活動を行う。

1. 選手の競技力向上(投擲種目)のための技術指導を行う。
2. さまざまなトレーニング方法を紹介し、コーチの指導技術向上をサポートする。
3. トレーニングカリキュラムの立案・策定をサポートする。

4. その他配属先が必要とする支援を行う。

※各選手の担当競技は本人の希望ではなく、選抜結果等を元に配属先が指定する。よって生徒のモチベーション維持も重要となる。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

陸上競技グラウンド、砲丸、槍、円盤、ハードル等陸上競技機材一式、ウエイトトレーニング機器、ジムトレーニング設備(他種目と共用)

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長 男性、50代  
同僚コーチ4名 男性1名(50代)、女性4名(50代)  
指導対象選手11名 男子6名、女子5名、15～17歳  
\*参考記録(男子14～18歳):砲丸投げ(5kg) 13.15m、円盤投げ(1.5kg) 40.72m、ハンマー投げ(5kg) 54.63m

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
ミャンマー語	ミャンマー語	英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（ ）

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（ ） 備考：

[経験]：（指導経験）3年以上 備考：コーチへの助言も行うため  
（競技経験）5年以上 備考：実践的な指導が求められるため

[参考情報]：

・地区大会出場レベル

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（17.5～37.0℃ [電気]：（安定）位）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

配属先敷地内の宿舎に居住する。任国の査証手続のため、他の国の同じ隊次より派遣時期が遅れる。

【類似職種】